

都市再生整備計画 事後評価シート
三郷北部地区

平成27年3月

埼玉県三郷市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	三郷市	地区名	三郷北部地区			面積	1166.2
交付期間	平成22年度～26年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	744	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業		道路(市道0106号線)、地域生活基盤施設(江戸川交流拠点施設、半田運動広場、かまどベンチ)、高質空間形成施設(三郷駅公衆トイレ、三郷駅前広場連続シェルター、采女水路、新三郷駅公衆トイレ)									
	提案事業		地域創造支援事業(散策路環境整備、中学校校庭夜間照明整備)、まちづくり活動推進事業(江戸川交流拠点利活用社会実験)									
			事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業		基幹事業		地域生活基盤施設(半田運動広場、かまどベンチ)、高質空間形成施設(采女水路、新三郷駅公衆トイレ)			交付期間内の整備が困難なため			みさと団地の居住人口の指標に関連するが、目標値は据え置く	
			提案事業		なし							
新たに追加した事業		基幹事業		道路(市道0108号線)、公園(インターA地区3号街区公園)			三郷駅へのアクセス道路の改善と区画整理地区内の街区公園の整備をする必要が生じたため			生活環境評価の指標に関連するが、目標値は据え置く		
		提案事業		なし								
交付期間の変更		当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更	-									

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	みさと団地の居住人口	人	18,102	H21	18,280	H26	●	16,576	×	あり なし ○	みさと団地周辺の環境向上に一定の効果はあったと思われるが、人口減少の歯止めには至らなかった	
指標2	生活環境評価	%	47.5	H21	50	H26	●	72	○	あり なし	民間大規模開発等による基盤整備も影響し、満足度が上昇した	
指標3	ICウオークカード会員数	人	291	H21	525	H26	●	552	○	あり なし	コースの新設に伴い会員は順調に増加している	
指標4							●			あり なし		
指標5							●			あり なし		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	早稲田彦成地区人口	人	83,874	H21	/	/	●	87,603	/	/	みさと団地の人口は減少しているが、計画区域の人口は増加している。	
その他の数値指標2					/	/	●		/	/		
その他の数値指標3					/	/	●		/	/		

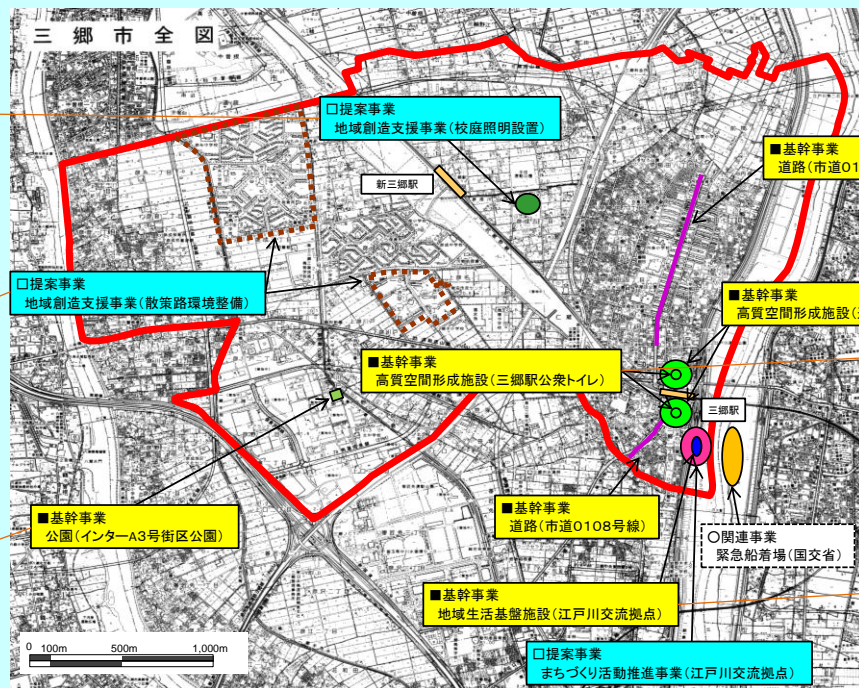
4) 定性的な効果発現状況

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	公園設計における住民ワークショップ		都市再生整備計画に記載し、実施できた		● 日常管理について地元の町会に委託。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2-2 地区の概要

三郷北部地区(埼玉県三郷市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 複合都市機能拠点(新三郷駅周辺)、地域拠点(三郷駅周辺)を包含した整備計画のもと、新市街地と旧市街地及び田園創造地との調和したまちづくりを推進する。 目標1: 公共施設等の老朽化対策、バリアフリー対策を推進し人にやさしいまちづくりを進めるとともに、併せて近接する江戸川を新たな観光拠点として活用し地域の賑わい創出を図る。 目標2: 新三郷駅周辺の複合都市拠点の中核に位置づけられる新三郷からシティへの交通アクセスを改善するため地区内の水路・小川を整備し歩行者・自転車等の通行の安全確保を図る。 目標3: 地域の治水対策を推進するとともに、江戸川、中川等の水辺と緑の自然的基盤を生かし、うるおいと安らぎのある空間づくりを目指す。さらに地区内の公共施設用地や既存の小・中学校を活用し、運動施設等地域の活動拠点の創出を図る。	みさと団地の居住人口	単位: 人	18,102	H21	18,280	H26	16,576	H26
	生活環境評価	単位: %	47.5	H21	50	H26	72	H26
	ICウォークカード会員数	単位: 人	291	H21	525	H26	552	H26
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H



まちの課題の変化 市内の3つの鉄道駅周辺においては、三郷中央駅周辺は土地区画整理事業、新三郷駅周辺は民間開発事業によってまちづくりが進められており、昭和50年代に土地区画整理事業が実施された三郷駅周辺は公共施設の老朽化と活気が失われつつある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む) 三郷駅周辺は再開発事業や官民連携による地域活性化事業の検討を進める必要がある。みさと団地については、人口減少や高齢化の歯止めとして、若い世代の入居を促進する施策が必要である。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道0106号線	110	L=1,370m	119	L=1,370m	歩道部分の追加	影響なし	●	
道路	市道0108号線	-	なし	50	L=480m	平成25年に計画変更して追加	影響なし	●	
公園	インターA地区3号街区公園	-	なし	34	A=2,500㎡	平成25年に計画変更して追加	影響なし	●	
地域生活基盤 施設	江戸川交流拠点	58	トイレ・修景施設	55	トイレ・修景施設	事業費の減	影響なし	●	
地域生活基盤 施設	半田運動公園	80	グラウンド・トイレ 修景施設	0	-	平成26年に計画変更して削除。 事業期間内の完成が困難なため中 止。	影響なし		
地域生活基盤 施設	かまどベンチ	22	26公園 108基	0	-	平成26年に計画変更して削除。 事業期間内の完成が困難なため中 止。	影響なし		
高質空間形成 施設	采女水路整備	49	L=100m	0	-	平成25年に計画変更して削除。 事業期間内の完成が困難なため中 止。	影響なし		
高質空間形成 施設	三郷駅公衆トイレ	69	1箇所	79	2箇所	南口トイレを追加。	影響なし		●
高質空間形成 施設	新三郷駅公衆トイレ	22	1箇所	0	-	平成25年に計画変更して削除。 事業期間内の完成が困難なため中 止。	影響なし		
高質空間形成 施設	三郷駅駅前広場連続シェルター	90	L=390m	365	L=300m	駅前広場のレイアウト変更に伴う土工 事の増及び夜間工事による経費の増。	影響なし		●

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
				基準年度		基準年度		目標年度					あり	なし		
指標1	みさと団地の居住人口	人	住民基本台帳における「みさと団地」に居住する人口	19,723	H16	18,102	H21	18,280	H26	モニタリング	●	16,579	モニタリング	●		●
										事後評価	確定見込み		×			
指標2	生活環境評価	%	市民意識調査において「みさと団地・さつき平団地」における「道路の安全対策」の5段階評価で普通以上と回答した割合。			47.5	H21	50	H26	モニタリング	●	72	モニタリング	○		
										事後評価	確定見込み		○			
指標3	ICウオークカード会員数	人	「すこやかみさとICウオーク会員」に登録した人数のうち、計画区域内に居住する人数。			291	H21	525	H26	モニタリング	●	552	モニタリング	○		
										事後評価	確定見込み		○			
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み					
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み					

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	みさと団地周辺の環境向上に一定の効果はあったと思われるが、みさと団地の人口減少の歯止めまでには至らなかった。	
指標2	民間の大規模開発等による基盤整備の影響もあり、道路に関する満足度が上昇した。	
指標3	コースの新設に伴い、会員数も順調に増加した。	
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標		単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
				基準 年度		基準 年度						
その他の 数値指標1	早稲田彦成地区人口	人	住民基本台帳における「早稲田 地区」及び「彦成地区」に居住す る人口	83,466	H16	83,874	H21	モニタリング	●		計画区域を含む市北部の人口 増減を把握することにより、事 業の効果を計ることができる。	
								事後評価	確定 見込み	87,603		
その他の 数値指標2								モニタリング	●			
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3								モニタリング	●			
								事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
公園設計における住民ワークショップ	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した ● 予定したが実施できなかった (理由)	【実施頻度】計4回 【実施期間】平成21年度 【実施結果】大人の集える公園をコンセプトに、子供向け遊具を設置せずにミストの噴水や健康遊具を整備した。	日常管理について地元の町会に委託。
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
まちづくり事業庁内報告会	課長級職員(都市デザイン課、水道部施設課、道路河川課、生涯学習課、みどり公園課、財務課、交通防犯課、健康推進課、スポーツ推進課)	平成27年2月9日	企画調整課・まちづくり事業課 (都市再生整備計画主管課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2	指標3	その他の数値指標1	
指標名		生活環境評価	ICウオーク会員数	早稲田彦成地区人口	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路(市道0106・0108号線)	◎	駅への主要なアクセス道路の改修や歩道部分のバリアフリー化及び駅前広場の改修等により、安全な歩行者空間の確保ができたため評価が上昇した。	新たに2コースを整備したことにより、ICウオークが身近な健康増進手段として認知され、地域住民の会員が増加した。	当該計画区域を含む市北部地域では、都市再生整備計画事業をはじめ、民間大規模開発に伴う基盤整備やまちづくりも行われているため、地域の人口は増加している。
	公園(インターA地区3号街区公園)	—			
	地域生活基盤施設(江戸川交流拠点)	—			
	高質空間形成施設(三郷駅公衆トイレ)	○			
	高質空間形成施設(三郷駅前広場連続シェルター)	○			
提案事業	散策路環境整備(ICウオークコース)	○	◎	○	
	中学校夜間照明整備(早稲田中学校)	—	—	○	
	江戸川交流拠点利活用社会実験	—	—	○	
関連事業					

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	本計画では、三郷駅北側の駅前広場の改修を実施したが、南側の改修も早期に実施する必要がある。			
-------	---	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1											
指標名		みさと団地人口											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路(市道0106・0108号線)	—	三郷市の北部地域の魅力アップを図るため公園の整備や中学校校庭の夜間照明整備による公共施設の利便性向上に取り組んだが、近年の団地人口減少の歯止めまでには至らなかった。	II									
	公園(インターA地区3号街区公園)	△											
	地域生活基盤施設(江戸川交流拠点)	△											
	高質空間形成施設(三郷駅公衆トイレ)	—											
	高質空間形成施設(三郷駅前広場連続シェルター)	—											
提案事業	散策路環境整備(ICウオークコース)	△											
	中学校夜間照明整備(早稲田中学校)	△											
	江戸川交流拠点利活用社会実験	△											
関連事業													

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類I: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類II: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類III: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類IV: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	<p>老朽化した団地の人口減少を止めるには、地域の魅力アップの他に団地のリフォームや商店街の活性化など住環境の整備が必要となることから、UR都市機構や住民と連携した団地活性化の事業を進める必要がある。</p>			
------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
まちづくり事業庁内報告会	課長級職員(都市デザイン課、水道部施設課、道路河川課、生涯学習課、みどり公園課、財務課、交通防犯課、健康推進課、スポーツ推進課)	平成27年2月9日	企画調整課・まちづくり事業課 (都市再生整備計画主管課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
三郷駅周辺の道路等の公共施設老朽化やバリアフリー対応。	三郷駅への主要なアクセス道路(市道0106・0108号線)の修繕やトイレの新設・改修により駅周辺の環境が改善された。		
三郷緊急用船着場の活用。	修景施設やトイレを整備した休憩所は、河川空間利用者の憩いの場となっている。また、春に行われるイベントは年々来場者が増加している。		
みさと団地の高齢化と地域の商業施設や地域活動の活性化。		みさと団地の人口減と高齢化。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	三郷駅周辺の活性化	三郷駅周辺の商店街や事業者と連携した船着場活用の事業により、三郷駅周辺の活性化を図る。	船着場イベント(民間事業)

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	みさと団地の人口減少と活性化	公共施設の改修や整備だけではなく、団地商店街の活性化や若い人たちの入居を促す事業を進める。	空き店舗の活用 新たな拠点施設の整備
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	みさと団地の居住人口	人	18,102	H21	18,280	H26	確定 ●	16,576	×	あり	●			
							見込み			なし				
指標2	生活環境評価	%	47.5	H21	50	H26	確定 ●	72	○	あり				
							見込み			なし				
指標3	ICウオークカード会員数	人	291	H21	525	H26	確定 ●	552	○	あり				
							見込み			なし				
指標4				H	H	確定				あり				
						見込み				なし				
指標5				H	H	確定				あり				
						見込み				なし				
その他の数値指標1	早稲田彦成地区人口	人	83,874	H21	/		確定 ●	87,603	/					
その他の数値指標2				H	/		確定							
							見込み							
その他の数値指標3				H	/		確定							
							見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		指標については、事業の効果を考慮し適切に設定する必要がある。
	うまく いかなかった点	整備区域が広範囲であり多種多様な事業を実施したことから、区域の人口は増加したものの指標とした団地の人口は減少している。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	ワークショップは直接住民と事業内容を検討する貴重な機会である。	可能な限り、住民の意見を考慮した施設の整備を進める。
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成27年2月10日～2月23日	平成27年2月10日～2月23日	担当課への電話、メール	企画調整課 (三郷北部地区都市再生整備計画担当課)
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	なし				
-------	----	--	--	--	--

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	鷹 咲子 (跡見学園女子大学准教授:政策形成と政策評価専攻)	平成27年2月25日	企画調整課・まちづくり事業課 (都市再生整備計画担当課)	三郷市公共事業評価監視委員会設置規定	独自に設置
その他の委員	大山 芳雄(三郷市商工会事務局長) 石井 盛一(谷中町会長)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・都市再生整備計画で掲げた指標の評価結果について適正であると確認された。
	実施過程の評価	・適正に行われたことが確認された。
	効果発現要因の整理	・効果発現要因について適切に整理されたことが確認された。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案について適切に公表したことが確認された。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きについて妥当と認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・三郷団地の高齢化対策として、商店の活性化などが必要との意見があった。 ・まちづくりについて話し合いができる場があると、住民の求めるものが見つかるのではないかと意見があった。
	フォローアップ	・特になし。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策について妥当と認められた。
その他	・特になし	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画(第3回変更)

三郷北部地区

埼玉県 三郷市

平成26年3月

・様式は、A4印刷とすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	みさと市 三郷市	地区名	みさとほくぶちく 三郷北部地区	面積	1166.2 ha	
計画期間	平成	22 年度 ~	平成	26 年度	交付期間	平成	22 年度 ~ 平成	26 年度

目標 大目標：複合都市機能拠点（新三郷駅周辺）、地域拠点（三郷駅周辺）を包含した整備計画のもと、新市街地と旧市街地及び田園創造地との調和したまちづくりを推進する。
 目標1：公共公益施設等の老朽化対策、バリアフリー対策を推進し人によさしいまちづくりを進めるとともに、併せて近接する江戸川を新たな観光拠点として活用し地域の賑わい創出を図る。
 目標2：新三郷駅周辺の複合都市拠点の中核に位置づけられる新三郷らシティへの交通アクセスを改善するため地区内の水路・小河川を整備し、歩行者・自転車等の通行の安全確保を図る。
 目標3：地域の治水対策を推進するとともに、江戸川、中川等の水辺と緑の自然的基盤を生かし、うるおいと安らぎのある空間づくりを目指す。さらに、地区内の公共公益施設用地や既存の小・中学校を活用し、運動施設等地域の活動拠点の創出を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・三郷市は、東京都心から20km圏内に位置しており、大型団地や高速道路を結ぶインターチェンジや武蔵野線が整備され、田園型の社会から多様な機能を持つ都市へと変化してきた。つくばエクスプレスの開通により都市化の促進がますます顕著となっている。
- ・当地区は、市の北部のJR武蔵野線沿線に位置し、三郷駅周辺は、昭和57年6月に換地処分された早稲田土地区画整理事業地区が位置し、閑静な住宅街と近隣型の商業施設が点在する街並みが形成されている。
- また、新三郷駅周辺については、計画人口3万人を擁するみさと団地（昭和48年入居開始）や民間開発のさつき平（昭和61年入居開始）地区の大規模集合住宅地区が立地するとともに、平成20年に土地利用が開始された武蔵野操車場跡地開発地区（新三郷らシティ）があり、首都圏でも有数の大規模商業地区へと変貌を遂げている。
- ・地区の南には、県道草加流山線が東西に流れるとともに、新たな都市軸道路に位置付けられる都市計画道路三郷流山線が地区の北部を東西に横断するルートで都市計画決定されている。また地区を南北に貫通する常磐自動車の三郷料金所付近にはスマートインターチェンジが整備され供用開始されている。
- ・地区内には、新旧の街並みが形成されており、広域道路の整備とともに地区内のアクセス道路の整備や歩行者の安全を考慮した環境整備が求められる。
- ・三郷駅直近の江戸川右岸に国土交通省により三郷緊急用船着場が整備されており、当施設を活用し、観光拠点、生涯教育活動拠点等の利活用の検討が求められる。
- ・第4次三郷市総合計画では、新三郷駅周辺については、「武蔵野操車場跡地・周辺地域」として、流通施設、商業、業務施設、レジャー施設、教育施設、住宅などの複合的機能を集積した「複合都市機能拠点」の形成をめざすこととしている。また、三郷駅周辺については、近隣型商業・業務機能の一層の集積により、地域住民の生活の利便性を向上させる「地域拠点」として位置付けられている。

課題

- ・三郷駅周辺については、土地区画整理事業により整備された道路等公共施設の老朽化対応やバリアフリー対応が求められる状況である。また、市内外の大規模商業施設の立地の影響を受け、駅前商業の空洞化が懸念される。
- ・三郷駅に近接している三郷緊急用船着場のまちづくりへの活用が求められている。
- ・地区内には、土地区画整理事業や住宅団地開発及び武蔵野操車場跡地開発による基盤整備が実施された地域と農業集落地域や幹線道路の沿道利用地域とが混在しており、これら地域間のアクセス路整備や既存の水路や河川の整備を推進し歩行環境改善を図る必要がある。また、半田運動公園が暫定利用されており、本格的なスポーツ施設の整備が求められる。
- ・地区内に設置されたスマートインターチェンジへのアクセス道路が大規模車両対応となっていないため、計画的な整備拡充が求められる。
- ・みさと団地やさつき平地区は入居者の高齢化が急速に進んでおり、地域の商業施設や地域活動の活性化が課題となっている。多世代の入居を促進し、居住者の世代均衡化を図る必要がある。
- ・地区内は少子化の影響から、児童生徒数の減少が著しく、小中学校の適正配置と適正規模による教育環境の改善が課題となっている。

将来ビジョン（中長期）

- ・拠点とその周辺との調和あるまちづくりを推進し、「きらりとひかる田園都市みさと」の具現化を図る。
- ・地区の東部に面する江戸川をまちづくりに取り込み、水辺空間利用のための施策を実施する。
- ・地区の東部を東西に流れる「彦成川」や地区内の用排水路は、安らぎやうるおいを与える貴重なオープンスペースとして水と緑のネットワークの軸として位置づけるとともに、散策路としての活用を図る。また、半田運動公園の整備を促進し地域の魅力アップを図る。
- ・少子化による児童生徒数の減少を踏まえ、小中学校の適正配置、適正規模を図るための施策を推進する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
みさと団地の居住人口	人	みさと団地内の4月1日現在の居住人口	減少傾向から増加傾向へ転じることにより、魅力あるまちづくり推進の効果を計ることができる。	18,102	平成21年度	平成26年度
生活環境評価	%	歩道・ガードレール・信号等道路の安全対策の評価が普通以上と回答した市民の割合	道路環境の整備による住民意識の変化が把握できる。	47.5	平成21年度	平成26年度
地区内のICウオークカード会員数	人	すこやかみさとICウオークカード会員に登録した人数	散策路環境整備の整備効果が把握できる。	291	平成21年度	平成26年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標1: 道路、歩道等の老朽化対策、バリアフリー対策を推進し歩行者にやさしいまちづくりを進めるとともに、併せて近接する江戸川を新たな観光拠点として活用し地域の賑わい創出を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路(市道0106号線、市道0108号線) ・地域生活基盤施設[江戸川交流拠点施設] ・高質空間形成事業[三郷駅前広場連続シェルター、公衆便所新設、改修] ・まちづくり活動支援[江戸川交流拠点利活用社会実験]
<p>目標2: 複合都市拠点の中核に位置づけられる新三郷ららシティへの交通アクセスを改善するとともに、周辺道路や地区内の水路・小河川を整備し、歩行者・自転車等の通行の安全確保を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路(市道0106号線、市道0108号線)
<p>目標3: 地域の治水対策を推進するとともに、江戸川、中川、第二大場川等の水辺の自然的基盤の活用と、公園整備により、うるおいと安らぎのある空間づくりを目指す。さらに、地区内の公共公益施設用地や既存の小・中学校を活用し、運動施設等地域の活動拠点の創出を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業[散策路環境整備、中学校校庭夜間照明整備事業] ・公園(インターA地区街区公園)
<p>その他</p>	

